「10周年にあたり」と題 そこで洛星新聞でも

だから、洛星では「静粛」・「時 んなことがあつても、与えなけれ 年を導くために「どうしても正し ばならないという方針なのです。 いとしか思われないこと」は、ど 間皎守」・「礼儀作法」・「美化 ても変えないのです。二十年たつ

変らないでしよう。 整頓」等の大きな規則は十年たつ 「変化したもの」につい

述べましよう。確かに方針は変

るようだけれども、君達の心の成

いい方へ変つたのは建築とか設備

リツクの考え方では、教育者は青 だからといつて、私は毎日怖い

ーズ記事を載せることにした。 洛星には多くの規則があります。 もの」について述べてみましよう 針は少し違うのでず。即ち、カト るでしよう。ところが、洛星の方 いのかという不安を持つこともあ に、洛星は何故もつと自由にしな んは、他の多くの学校と同じよう じていると思います。そこで皆さ そして、これを守らせようとして いる学校の権威を皆さんは常に感

り、遊んだりしたいし、また私の るだけで満足できるでしようか。 校は余り好きではないでしよう。 生命といつてもよい宗教について 勿論、私はもつと皆さんと話した たいのです。 顔ばかりして、学校の中を歩き回 皆さんも監督や強制ばかりの学 同じととをあきもせずに教えてい いるうちに、そのうちに回想めい

にするもの 印刷・ダイヤ印刷KK TEL@6032

十年間の補導を振り返って

フランソワ・アラー

ものであつて、役員だけのもので

生徒会は生徒全員を基盤とする一つもりである。

変化したのは「方法」です。変化 」についての歴史を振り返り、ま れはとれからも同じでしよう。 が変化しなかつたのでしようか。 ます。それでは、何が変化し、何 」と「変化しないもの」とがあり たでしようか。確かに洛星は変化 十年間に洛星はどのように変化し しなかつたのは「方針」です。と しましたが、すべてが変化したの 最初に洛星の補導で「変化した 「変化したもの この学校でも中学生だけの時と、 一きました。(これは決して私が、 でなく後からもするようになって 高校生はもう大人に近いですから ならないかもしれません。しかし めに、時々規則を強制しなければ 供ですから、良い習慣をつけるた 化がありました。中学生はまだ子 くの卒業生の出た今とでは色々変 高校生ができてからと、また、多 良いように変化します。ですから せん よくいたづらをして皆さんのお尻 だけでなく下からも、前からだけ す。そういう意味で補導が上から を後からたたくことと関係ありま 自分で判断する力があるはずで

何もなりません。 なつて来たのです。しかしこれは 囲気を作り上げたいと思うように 化整頓がよく行なわれるような雰 きたなくなるでしよう。これでは 制がないとすぐにやかましくなり 非常に難しいことです。監督や強 守れ、時間が守れ、礼儀作法や美 しもできたら全然なしに、静粛が 監督や強制を余りしないで、 ないままに、締切の日を一週間以 一書かなければならない位古顔にな 上もたつた今やつと進まめ筆をと く思いつつも何もよい考えが浮ば われて、もうこのぼくが回想記を

高2と中3だけでこの回想記もそ たので現在洛星でなじみの学年は 十年一日の如く毎日同じ教室で るような気がする。しかしどうも ずつと高学年ばかり受持つてい

洛星の創立十周年を迎えて、私 | りませんが、方法はその時に最も | 校も好きですか。私も同じです。 け早くそれを成功させようではあ 努力したら必ず出来ることです。 ととでしようか。皆さんと私達が てほしいのです。これはできない 出来るだけ監督や強制をしないで しかも静かできれいな学校であつ

今から大いに努力して、出来るだ一ういうことでは、我々の生徒会は りませんかく。 はつきりと認識し、また生徒会を一力が必要なのだ。それで皆さんに 発展しない。生徒全員が生徒会の 会でも、雑談をしたり、遊んだり 僕の経験した過去二年間の生徒総 より発展させようと積極的に活動 する生徒が何人いるであろうか。 はない。しかし、現在、生徒会を一つた所でしれている。皆さんの協 ことを真剣に考え、積極的に活動 していの者が非常に多かつた。と

卒業しても、いつもこの学校を、 よっな、誇りと類しみとを持つて一会を作り上げるために努力をする一発化を計りたい。そしてクラブ活 自分の生まれた家に持つのと同じ そして、今学校にいる皆さんが 会に、生徒全賞を基盤とした生徒 だ。僕は生徒会長になつたこの機 してこそ、生徒会の発展があるの

りで最も本質的なものである君達 君達ほどガリ勉ではなかつたし点

BI- 444

星 洛

想記を書い ついての回

浴

になるのが、この学校の特色の一 想記を書かなければならない破目 つたのか、そしてそんなぼくが回 つかもしれない等と、くすぐつた は学校に於ては第二義 ゆる教えるということ ら、ほくはいつもいわ しての学校の存在理由なのだか

る教育の意味、人格の交りの場と 行くことがぼくのいつも考えてい

一年毎にだんだん子供つぼくその からなのかもしれないが、君達が

たような気がとする。何が自分に

がまるきり今の君達とは異つてい

たことも浮んでくるだろう。 学校に来ていても、ぼくの想い出 にあざやかなあの四、五年前の洛 変貌をとげてきた。こうして毎日 いい意味でも悪い意味でも大きな 星とは全くちがつた学校へ来てい こと数年の間洛星は

か

方

者に洛星に 新聞局の 長ぶりはいつもあざやかにぼくの 苦しみの中から何かを取り出して レベルでたどり共に苦しんでその を君達と一緒にできるなら、同じ 心にはうつつてくる。君達の成長

の逆であるような気がしてならな

くらい犠牲にしてでもかけがえの 取り虫でもなかつた。勉強を少し

自身の問題については、如つてそ

い。君達生徒とぼくとの年令差が

一年毎に必然的にひろがつて行く

人生に対する物の見方というもの ない若さをエンジョイしていた。

り上げた次第である。何か書いて このぼくにどうして教 る。(そうでなければ 師なんかつとまるもの 的なものだと思つてい くせこざかしく見えてくるのは一 とつて一番大切でかけがえのない

の旧制高校生をホーフツさせる連 とスケールが大きかつた。一昔前 ではないけれど君達の先輩の一期 ood old daysを云々するわけ 体どうした わけだろう。 何も の た奴もたくさんいたがもつともつ 生、二期生、三期生あたりは変つ 眼的にではなしにもつと高い立場 ものであるか、ということを近視 気がする。だから点取り虫ではな からしつかりと掴んでいたような 次に挙げるのは高1の時白血病で 熱意は君達以上のものであつた。 かつたが、 そのくせ勉強に対する こちは満点だから。 先づぼくは虚 う。しかし下つてもいい、下りご やつてくる。必然成績は下るだろ 力以上に点がついたとしたらそれ に対していやな顔をむき出してや 栄を排すべきだ。ぼくはぼくの実 さくまとまつて礼儀正しいのが洛 勢され薄められて行くのをおそれ ないが、ぼくはそのために却つて 星ボーイの典型かもしれないがそ 君たちの人生に対する真摯さが去 してそれはそれでいいのかもしれ るだけなのである。

一番よい大学の一番就職率の

が改められるならば洛星は勉学方

面に於てはもつと発展し得るので

業に積極的でないことなど。これ 後はどこかえ行かれることや、授 ば、良い先生であつても、本の三 れわれを満足させていない。例え

四年間だけ学校にとどまられ

思い起すことが出来るようにした。しかも次の十年間もたえず新しく、動を活発にする一方、生徒会則を つているのです。 「変化」して行くことを心から祈 改正して、生徒会の建て値しをし 選挙に関する事項、予算の審議に 前期における生徒会活動や、会長 現在の会則には、一年生の

+

周

年

変化しないもの」を持ちながら 私はこのように、洛星がいつも

記

念特集号

中学生徒会長

菅君信任され

3

必要がある。 関する点などに不足な点、あいま いな点が多いのでこれは是非行う 述べた会則改正、

た生徒会をつくり出すために、こ 動活発化により、生徒を基盤とし 、クラブ活

票、無効ー十票となり、菅宏君(3・C)が生徒会長に決定し 中学生徒会長信任投票の結果、信任一百七十六票、不信任一百四

た。そこで今後の抱負などを書いてもらうことにした。

生徒会に積極的に

つたとは思えない。

宏

ブ加入を実施されて、全員がクラ ブ活動を活発にしていただきたい しかしまたクラブに所属していな しかし、いくら僕が一人で頑張 去年の生徒会が生徒全員のクラ 生徒会と直接関係のあるクラ て積極的に我々役員に協力してい 最後にもう一度皆さんにいつてお ただきたい。 来るのである。その点をよく考え ない。全員の一致協力のもとにだ きたい。我々本部の役員だけでこ の半年間を頑張るつもりであるが け、生徒会の発展を見ることが出 の生徒会を発展させることは出来 徒の返事も元気一ばいの声である

田中軍治君 (28) 信任されました 高校生徒会長には が

と共にクラブ調査委員の人には、

ブ加入を完全に実施したい。それ

生徒全員クラ

特に働いてもらつてクラブ活動活

父兄もわが子の姿を見ようと首を 派な態度であつた。 れた。そして教員紹介の後新入生 副校長・補導部長の訓辞が行なわ 伸ばしている。次に校長の式辞・ た心を静めたであろう。 べりを始めている生徒もいた。 つた。中学一年生とは思えない立 その後、毎年のごとく、オーケ 式の後、新入生はそれぞれのホ ム・ルームに入り、早速おしや 吉沢潔君の誓いの言葉があ

プに加入したはずなのであるが、

い人が、少なくないようなので、

ストラ部による欲迎コンサートが

た内容で行なわれた。

生前の日記の一節である。 これを よい学部に入学し一番月給の高い 得点をとる資格なしに取るから /-----点取り虫というのは見方に どのように感じるだろうか。 だ。ぼくはかくの如きものを一掃 よれば一種の盗みに属する。その 読んで、君達特に高校生の諸君は まつて要領よく、小紳士で、よく 会社に就職せんがため」に勉強を 意味はわからないだろう。現在の いないがみんな小じんまりとまと 洛星の生徒には変り種こそあまり ている人たちにはこのことばの

してしまわなければならない。だ 思つたらしないでおく 鹿げている。下らぬと のため勉強するのは馬 要なことだ。ただ試験 勉強するととは絶対必 ととでは決してない。 はならない。なまける からといつて誤解して その結果が成績として ことを書いているのではない。小 が時代の要求かもしれないか何と は奇をてらわんがためにこういう メンといったたぐいである。それ 湯をかけたら三分でおいしいラー 気がしてならないのだ、つまり熱 悲しいことではないか。何もぼく 気もきき、融通自在で才気煥発で このインスタント時代にふさわし 者ばかりがやたらに多いような 下さる先生方に関しては決してわ る。しかしわれわれを数え導いて 図書館の書籍も年々数を増してい とが多いにそれを物語つている。 学入試で輝かしい成績を上げたと と充実して来た。現に昨年度の大 とはいえない。勉学の面ではずつ 必ずしも、生徒の向上が余りない りないのは、生徒自身の自覚がな いからではなかろうか▼しかし、

第 待ちに待 期 た入学式

展の途上にある▼とい

十周年を迎え、益々発

ール学園も本年度で満 ▼いよいよヴィアト

、実のところそれは学

いたいところであるが

に新入生が登校した。どの顔を見 中学校の方は、午前八時三十分 年生はさほどではなかつたが、 月八日(土)、中学・高校一年生の入学式が行なわれた。高校一 せぬ、といつた表情であつた。 ようやくつぼみがふくらみ始めた四 年生はさすがに嬉しさを隠

の後三年後に体育館が建てられた

ころの洛星の校舎は中学校舎だけ 校の設備だけである。できたての

で、三年後に高校校舎、そしてそ

これらの生徒が烈しい競争から勝 こも、皆甘えん坊ばかりである。 中学の入学式と同じ内容で進めら 高校の方は午後一時より始まり、 代表として北川米喜君の希望

生の氏名が読上げられた。どの生 開式の辞・国歌斉唱の後、新入 式は九時より講堂で行なわれた

に比べて、ごく簡単に形式ばつ 決意に満ちた宣誓があつた。中 が出来たところである▼しかし、 理科の実験室の設備もだんだん

金で結んで、坐れなくて困つてい 十年もたつたのに生徒の向上が余 生は教師を見くびることもある。 下級生は上級生を見くびり、上級 の気兼ねもなしにする生徒もいる る生徒を見て喜ぶまことに幼稚な 何と言つたらいいのであろう。し まで築いてこられた先輩の方々に るし、時にはお金さえなくなる。 ろうか。悲しいかな、傘はなくな りに傘がなくなつていても、次の りしたことは決してなかつた。か も植えられ、つい最近立派な校門 立派になって来たし、中庭には木 生徒もいる。また廊下で相撲を何 ことがまれでない。椅子と机を針 られなくなり、大声、奇声、口笛 かし、何も盗難に限つたととでは してしまうのである。洛星をこと 生徒のために、洛星は多いに堕落 もちろんこれはごく一部の生徒の がなくなつたり、傘がなくなつた 生徒自身はどうだろう。昔はお金 など何ともいえぬ雰囲気に落入る とである。現在の洛星はどうであ 日には必ず返つていた、というと ない。校舎内で時として静粛が守 行為に過ぎない。しかしこれらの

やかましいこと。いくら笛が鳴つ

つしやつたが総数をながめるとそ

あの成績」という意味のことをお

様は、「良くも悪くもないまあま

いる。これについてラトレー神父

高一はルチラホラル程度でまあ良

校だつたのだなあ。」と思うだけ

中一・中一は皆無に近く、中三・ うであるが学年別に見て見ると、

か。残念なが否と答えざるを得な い。中間体操の前後の集合の時の

うか。よく守られているであろう られている「静粛」はどうであろ いことに気ずくであろう。 徒心得」のこと)が守られていな と、余りにもこれらの規則(「生 の毎日の学校生活を顧り見てみる 当然のことである。ところが我々 得」を守らなければならないのは かあり我々生徒はこの「生徒心

ろ、四月は、

中学九回、高校三十

順

刻者数を調べて見ると最もよくわ

が守られているか否かは毎日の遅

かるので補導部で調べて見たとと

は「時間厳守」である。この規則

「静粛」の次に示されているの

公员

法律に従わなければならないのと

な態度で臨めるはずがない。

国家には法律があり国民はそのくなる。あれでは次の授業に厳粛

ると急に遅刻が増えている。下級

を知るべきである。

部 1 (2) 3 1

部

その他の国立大学

大学名

京府医大

東京大学

京美

法学

文学

工学 部 新

5

11

4

4

5

2 2

1 4

7 2

2

3 2

3 3

2

2 2

3

2 2

1

3

4

2

20 18

3 4 3

私立大学

大学名

南大

慶応大

法 政

中央大

関西医大

谷大

2 (1)

> 1 18 15

3 4 計

2

5

10

5

5

4 2

3

2 1

2

2

1

1

1

1

1

1 3

12 続

の結果を改めて報告することにす たことは諸君もご存知と思うがそ の卒業生は未曾有の好成績を上げ 今年度の大学入試において本校一輩の多くが志望した京大について 述べよう。本校の第四期生は学校

名が京大に入学した。この数はい 側の予想をはるかに上まわり十八 うまでもなく京都一で浪人と合わ

人合格者が多い。 (?)灘高校よりも本校の方が一

任

大

る (表参照)

まず地元の国立大学で我々の先,せて四十人という成績は京都では セント(浪人を含む)が京都一、 また合格率は本校の五十一パー

でも第九位で大学受験専問の学校一ては喜ばしく又はれがましいもの 鴨沂洛北紫野に次言第四位、 全国 である。一躍〃名門〃となつた洛 られたが、我々洛星の生徒にとつ 毎日、読売などの大新聞にも報じ この素晴しい成績はすぐ朝日、

成績を下げることなく上げるよう 星に学ぶ我々は先輩の築いたこの

北海道大 金沢大 1 東京外大 1 信州大 1 1 33 18 11

五月は九日までで、中学四に関しては、 の自覚が第一であるが特に「静 くの人に迷惑を与えるようなとと ・ 南」などのように一人の行動が多 の有様では先が思いやられる。 生に良い範を示すべき上級生がと 「時間厳守」を実行するのは本人 これまでに述べた「静粛」と 生徒会などが卒先し はない。又先生の名前を呼び捨て ていても決して気持のよいもので ない。上級生に目下の者にでも話 これは下級生になる程守られてい が、言語道断である。はたから見 本人は気がつかないのだと思う しているかの態度に出る下級生は その他に「礼儀作法」があるが

回、高校十三回という結界が出ててその実行にあたるべきである。 やるのを聞き「昔の洛星は良い学 おられる先生が「昔の洛星は大へ 望めないと思う。洛星に古くから そしてお互いが注意し合うように していかないとその十分な実行は るか否かは、毎日の学校生活にお かにかかつているといつても過言 いて我々が学校の規則を守るか否 本の名門に引き上げることが出来 もに京都の名門となつた洛星を日 の都合上省略させていただく。 ない規則はまだ数多くあるが紙面 今春の大学入試の成績で名実と このほかにも十分に守られてい

> 同 志社中学校 0 卷

全国第三位である。

訪 行くわけだからジロジられるが、我々洛星新聞部も心は 来る所を逆にはいつて るように部員がほしいといつてお だつた。ぞろぞろ出て ちようど土曜日の昼 とここの新聞部、のどから手の出 うされた。ずらつと並ばれて見る

大の二名、私立大学では同志社の

都府立医大の三名、東大、神戸商

大阪外大の四名、阪大、京

京都工織の

三十四名、立命館の十名などであ

左右対称の世界に住んでいる記者 務、図書、公安、美化の各委員会 でいる。新しいの古いのがいり交 つて目にはいるようなしだいで、 くむくとビルデイングが立ち並ん で校門をはいると、む は会長のもとに評議委員会、 よ生徒会のことに及んだ。生徒会 委員会があり、執行委の下に庶 とたどたとしやべつて、 いよい

には異様だつた。聞くところによがある。それに会期は一年。そう ということ。それで横のすごくい ると近代的な方は大学で関係ない た。もちろん雰囲気はわかるは 気くさい感じにはちよつと意外だ である。受付、職員室と、その陰 かめしい建物の中にはいつたわけ しばらくして配着は応接室にと 額もうんと多い。だがクラブ加入 は洛星の中高合せたくらいだから 従つて分配するとのこと。生徒数 ず、昔からの慣習で各クラブ予算 は目の色を変える所だがさにあら そう、予算はというと、我々洛星で がたいたい決つていて毎年それに 者は全体の二分の一ないし三分の

二というから、洛星中学の全員加

の名があつちとつちにはりつけて んじんの生徒会の方は、来年度 わからなかつたしだいである。か で、とこの活発さははつきりとは 見かけることは出来なかつたの くでクラブ活動をしている生徒を いかと思われた。あいにく試験近 (今年度にあたる)の会長候補者 り付けてあり、洛星にはないもの ンがあつて便利。色々の資料もは は発掘もやるそうで活液な動きを 美術品が多くあり、ここのクラブ 室があつたが、地理の模型や、古

と。全体からいつてクラブ活動も が、各クラスからの推薦というと あつた。四、五名連ねてあつた

これも活発らしいことは想像され り、これも改造されていて、

子。外には雪も降り出し、我々記

わただしそうにして おられる様 との学校ともお別れというのであ

者もおいとますることにした。

く、それに一人づつすわれるよう るからに美しい。各階ごとに特別 いうのがあり、構造は他のと変り になつていた。特に社会科教室と の机、いすも変つていて木製でな ないせいでもあるのだろう。生徒 たりして明るかつた。横に廊下が 教室があつた。さすが新しくゆつ つい最近建つたという格舎は見 ら見たような型になっている。 いつたぐあい 先生がはるか遠くに感じられると

人というのは結構すぎるのではな ないが、後ろには映写用スクリー の学校の創立はというと明治八年 変きれいだ。とこで毎朝礼拝が行 た。このチャペルは国宝級という 感じになる。ステンドグラスも大 と。中にはいつてみると壮厳な てはあまり関心がないというと われるとのこと。が、宗教に関 いよいよチャペルまでやつて来 大事なことを忘れていた、こ

くとのこと。又職員室に楯が置い

てあり掃除状態の一番よいクラス に与えられるということ。 三年生の人はもう一ケ月足ずで

のようなものでよく働らいておら

いうのはちようど洛星の風紀委員

最後に、先にいつた公安委員と

れる。地下の食堂にも見回りに行

その他に醇厚館というのがあ のことだそうだ。チャベルもその

に工業室、二階に視聴覚数室、各

きの新館は立志館と呼ばれている どは設備もととのつていてうらや 語弊があるがようするにVを上か 種集会所とある。一階の工作室な つ階段数室というのがあつて一番 が、シネマスコープ形、というと そうで、又すべての数 室は 黒板 ましい限りである。えーと、さつ 創立時の写真が飾つてあつた。 当時からある。幸いにも図書館に

写真は伝統あるチャペル

たが、先にラムバートさんが帰つ一通。学校でも、まあおいしいので一によつてならされるのや、そして ジ)、ミルク、ジュース(か果 て来られたので助かりました。 物)、そしてトーストと、まあ普 …朝は卵、ベーコン(かソーセー 食事の内容はな… を見ているか、一階でウロウロし はすばらしい……。まず、テレビ つもねばつて食べています。晩一毎日四人で食べるのやけど、〇・ せるベルが〇・B(男中)の手 いるとリリリンリン。食事を知 類にわけられるのやけど、またそ てくれるのや、肉類と野菜の二種 Bが次から次へおかずを持つてき れが、ごうかなもんです。

大西君のア メリカ 便 5

家まで来よらへんかいなと思つて た。まちがいか何かしらんけど、

士一月八日

玄関の所でピクピクしながら、自

お貸りして、その中から四、五載せることにしました。 ルペポートへ行かれた大西拡君(当時高一生)の便りをお父様に 去年の九月二日、日本をたつてアメリカ、ルイジアナ州のジエ

> うと思って、ウロウロしていまし 動車のあかりがみえたらどうしよ

おきたいことがある。即ち、先

三回目を書く前に、少し断つて

とそ私の望む所である。僕はこれ

なるものが形を整えてきた。だ

いうものは、果して文学といえる

そうなつてみて始めて、僕は

以上の何の意志をも持たない。と

に気付いたのである。坂井君が純

文学ということを旗印としてかか

げだしたのだ。これは、明らかに

文芸部々長坂井君の構想が自分の

構想と大きくくい違つていること

うと思つたら、手を出せばよいの んと二人で、待つていて下さいま ですが、窓は簡単にあきません。 飛行場を降りていくと、もうちや 飛行旅行もすばらしかつたです。 雲が横に沢山あるんです。つかも ダラスからこちらまで一時間程の めてお腹がへつたと思いました。 まつて、ダラスに着いた時には始 のつかれは飛行機でとり去つてし トの家に元気に到着しました。旅 ウポートのミスター・ラムバー とうとうシュリ 僕をバカにしよつて、ジョを呼べ 」といつてもやつばり早い。全く ・スピーク・モーア・スロウリイ わからへんかつたので「ブリーズ よはよしやべりよる。時々、オウ ーン、受話器をとると、低音のハ 。そうですこの電話がこわかつた いうようなことをいつてブツブツ けど、日本語のこらつチビとでも とかなんとかいつて、何や忘れた オウといつておこりよる。何にも スキーで、何もわからへんのに、は のです。テレビをみていると、リ 人しやべるのでとわいもんやさ

です。一番心配したのは電話です はこわかつたです。びつくりしま した。大きな家に僕一人だつたの 十月二十四日 この前の土曜日

たんきつてやりました。するとま と、話しがきこえないので、いつ一う」と考え直し かい、アパートの家の方へ走つて いったがまつくら、そしてもどる

その男は、前書を読まぬにしてた。その間に、文芸雑誌「赤土」 だろうか。」と考えていた。だが が、内心「この男は自分の書いた か。」と問われた。僕は、その男 かつたのだろ たから「多分、 第一回目の前書を読まなかつたの 日、ある男から「お前はこんなも 私の文章がまず を僕は知つてい は、余りに誠実な生徒であること のを書くだけで、放つておくの 「そうだ。」と答えておいた てから、己に一年の年月が流れ ある。 であり、 のために働く時間がもう無いから が発行され、はや第二号の発行と いうのは僕自身にそれらの夢実現 僕が総合雑誌の刊行を呼びかけ 余りにも多い夢だからで

......

が、僕の作りたか つた「みんなの雑

夢をみなおすとと になつてしまった

今回は、前名た

のような「純文学」などというも

使つて発行する必要はなかろうと

はあくまでも「文芸春秋」的総合 最初の私の構想と異つていた。僕

らの人々の間で発行すれば良いの

言わぬが、そのような雑誌はそれ い。文学士の集いを何も悪いとは から原稿がなかなか集つていな ない。現に、文学などと四角ばる は、将来の発展は到底望めようも う狭い殻に 閉じこ もつた 雑誌で かどうか怪しい代物だ。)等とい

誌を期待していたのであり、そ

であつて、何も多額の生徒会費を

る幅の広い総合雑誌である。文学の雑誌」にされんととを願う次第 クラブを調査していてもわかつた ものではなかつたといえる。一体 土」は僕等の期待していたような ある。この点からいつて、「赤 想のもとに書いておられたようでてしまつた。H一の方で、すでに る。 のを考えてはいなかったのであ H三の下間君も僕のような構 クラブ研究発表等も載せられ の思うに、私達の文学などと である。 誌」はもはや夢をみるだけでは、 もしそうでないのならば、

もなかつたが、一応何よりも先づ

雑誌を発刊することだと思い、

して少なからず不満がないわけで 恰好になつてしまつた。とれに対 分は文芸部執筆部員というような

文芸部幹部で行われてしまい、自

つた手前一応文芸部員に属したわ なつた。僕もあのようなことをい

けであるが、

ばならぬのならば致し方ないが、 方がどうしても文学にとどまらね あるが、文芸部の方々よ、あなた 僕の夢のような雑誌発刊の動きが 私には気の納まらないものとなっ 」の発展を考えられて、「みんな

ウ」といつてや て途中やけど、 イ・ドント・ノ きつてやつたら る。諸兄の中に、もし僕の夢にヒ を、そのまま書き連ねているので だからこそ、思いついたままの夢 単に洛星に刺激を与えて発展させ 私がこの拙文を書いているのは、 ようという心持からである。それ

シート勝

間前 肃喜

6

1 堀

Ш

B

三宝(日・二)

|第十一位

木村(H・一)

回戦

6

2同志社

個人出場

指(f·一)

6

野

▼バレーボール部

永野——第三位

▼硬式庭球部 (ダブルス)

出場者

A 檐上—第六位

芝井 輝彦

五月十三日(土)

一 ニメートル八十五

全学年国体種目の部

第六位 十四・五点

芳村 泰闕

八百メートル

三 (5)

五十七秒二 藤本 恭久

三回戦

四百メートル

一位 ーメートル五十

和多田

裕

▼陸上競技部

八百メートルリレー

高一の部

日時 五月十三日 (土)

五月十四日 於

西京極競技場

二位 一分四十一秒八

藤本、和多田、華島、岩井

敗

出身地

出身校

新任

教

師

紹

介

4 3 2 1

洛星の第一印象

4—6期 川 高校総合体育大会

中古 回戦 中古隅西回 シングルス 111 111 6 6 6 5-7 Q 1

▼弓 道 部 四回戦 日場時所 古 中古 лі лі 武徳殿 3 5

五月十三日(土) 4-1洛

▼第4回近畿高校ハンドボ 14日 滋賀短大附属高) ール選手権大会(10・13・ 上、生徒諸君が自主的に動いてい な、そうかいな、いいや!)又、 る点が立派である(ほんまかい

3

規律が整然と守られている

山城高校 スコア メンバー 2121 | | 1315

6 5

住所 その他

文

古前井塚妻野藤松高藤 古前井塚妻野藤松高藤 日田田口本鹿村村本島田 バドミントン部 田

専

任

中

耕先生

(うぬぼれるナー)

中村(清) {2 111}伏見 海 910 66 五月十二日 京都府立朱雀高校 迦 洛 3 東 山 なく、多分に揺籃から亮場まで京

▼軟式庭球部 戸 86 五月十三百(土) 京都市立紫野高校 朱 東 つています。又、他に謡曲(観世 ング、登山、旅行等に行きたく思 眼と金があればできるだけハイキ 流)位のものですが、何でも色々 田園生活等を求める気持が強く、

毒である。 援なく、選手諸君には本当に気の ろうが、それも仕方のない所。ま からこのようなことになるのであ た他校は応援が多いが、本校は応 かつた。どうしても練習時間の差 全般に相手がどこも強 角力は全然興味がなく、又魚釣り 飲まない。(おいしくないらし は殺生が嫌いだからやりません。 と、やつて見たいという意欲は大 いにあります。但し、プロ野球と (ガラでもない)酒、煙草は日常

▽男子一回戦 (滋賀) (3-32) 5洛星

> 洛星の生徒に対する注 が、自分では京都人の長所欠点を なんですぞ)も非常によいと思い を持つている処(御立派な先生達 育ててほしいものです。 生粋の京都つ子といえ そうです 上げられたよい校風を守り、 ① とれからも、今までに築き 両親共に京都生れですから 伏見区淀本通三番地

講 師

園から大学まで京都を離れたこと 京大理学部数学科卒 幼稚

1

都にいる可能性が強いようです。 都会育ちだから逆に野山や 工藤 1 昭和九年熊本県出身 敬一先生 (社会科)

みんな大変総明でお行儀がいいと 時代を過した者の一人として淡し を終戦後の混乱の中で中学高校の 変恵まれた条件で勉強出来る諸君 広い運動場、適度な人数等々の大 卒業、昭和三十六年同大学院博士 昭和三十一年京大文学部国史学科 いうととです。又、立派な校舎、 課移終了。 3 ③ 釣、登山、山野の散策。 洛星学園の諸君の印象は、

一先生方に対して信頼観と親密観一るパツクボーンのある個性を作つ二二六稲田方 る無限の可能性を一歩一歩現実性 件を十分に生かし、自らの中にあ に転化させ自ら考え判断し行動す くも思います。 ④ 願わくば、このような好条

亘つ 二 蓮 3

十分に認識しているつもりです。 1

なつても困まるが、何でも嚙つて 間がある。まとまりのない人間に

のではないか。しかし、一つ苦言 るいは高校の生活をおくつている 非常に恵まれた条件の下で中学あ かな大気にもにて快い。 伸びる姿は、新緑の季節のさわや ④ 諸君は、私などと違つて、

良識と豊かな人間味にあふれた、 ひとりが前進してほしいものだ。 することのないように。寒さにも まとまつた悪い意味での秀才に堕 たくましい現代人に諸君のひとり 暑さにも負けない強い苗木に成長 してほしい。高い知識と共に深い いという。線の細い、ちんまりと を提しよう。温室育ちの苗木は弱 ⑤ 焦 左京区吉田 | 本松町

敏先生

大大学院(数学専攻)在学。

な洛西の一角に諸君のすくすくと ③ 見暗らしいのいい、のどか

4

もなく案外にほかんとしている時 といつて絶えず動いているわけで 味でかつ雑趣味といえる。そうか 私は、どういうものか多趣

3

研究うち込まれる人が沢山出られ

な、希望と健康さに溢れた学園生 活をおくつてほしいと思います。 のだ、ということを証明するよう いつた世評は対しても、決して我 そして「洛星は六年制予備校だ」と 々の学園は灰色の予備校ではない 京都市左京区浄土寺石橋町

京大理学部数学科卒業 京

瀬野 しいそうですよ!

課程にて勉学中。 理学部植物学科卒 1 滋賀県立八幡高校卒 京大 同大学院博士 (生物担当)

ろ良い印象です。 のびとしたふんいきで、今のとこ る方)登山、旅行 ③ 予期していたよりは、のび 勉強に力を入れるのはいい 音楽、絵画、スポーツ(観

地味ではありますが、基礎科学の ときに、自力でどんどん実力を発 て下さい。大人になつて独立した 人だと思います。 洛星の皆さんのうちから、将来

で行つていただきたいと思います るの) 国史学専攻修日本史。 有泉 2 1

学校かとオドロキました。

が飛びだしてくるので、授業への ファイトをかきにててくれます。 る感じ、(感じだけ?)鋭い質問 ⑥ ニックネームはラクダ(ら (3) ④ 生徒諸君のつぶが揃つてい 右京区峻峨北掘町二二金風

悍二先生

か。そしてこのような意見の人間

を、新聞に投書しようではない どんどん自分の思う色々なこと柄 遠慮することはない。

新入生諸君も、中一・三諸君も

と高校は、五分五分である。何も 高等学校の新聞である以上、中学 問題である。との新聞が、洛星中 表現できるか、出来ないかは、別 校生の方々のように、エラソウに を発表する権利もある。それを高 々意見を持つている。そしてそれ

かろうか。

M B

鵜飼

れも洛星新聞の役割の一つではな がいるととを知つてもらおう。と

どんどん伸びるような人間になっしあるだろう。そういう人達には、 ですが、眼先にとらわれず、将来一中一生の中には、思いあたる人が

一ることを我田引水ではありますが一上級生に対してもつと尊敬の念をいる。 揮できる人が本当に勉強の出来る一思う。そうかといつて、上級生が 生徒手張にもあるように、学校を ますますよくするように努力する ように教育しなければならないと のが、生徒の義務でもあるから、 新中一生にいばりたいのではない

京都大学大学院文学研究科 貞夫先生 (社会科) と思つています。 が、皆さんのよい兄貴になりたい ⑥ 登校する日は月火木です

洛星に入つて早や五年目、一部

MIIB 迫田伊佐次

てもらいたい。

整つているので、これが男の子の ③ 校舎の内外すべてが美しく 山歩き、野球(するの、見

う。我々も人間である以上、色な

し上げておかなくても良いだろ 」を何も高校生の方々に全部をさ つである。とのような貴重な「場 に知つてもらう数少い「場」の は、自分の意見をより多くの人々 の新聞である。そうして新聞紙上

があるように思う。クラブ活動等 もつと上級生を上級生として見る かと思う。との記事を読んで、新 では、したしいのはよいがあまり しれないけれど、今年の新中一生 上級生を見くびりすぎるのはどう は特に上級生を上級生と見ぬ傾向 と、ずいぶん生意気に見えるかも 我々も高校生の人達から見る 提案する。

どうもそうではないらしい。そう 提出されて、その中から良いもの とは、投書欄的な記事の中に、中ていただいたが、一般に気づくと 間に洛星新聞は随分たくさん見せ すると、どうもおかしな話にな あろうと思つていた。ところが、 を選ぶから、自然にかたまるので ある。私は初め、投書がたくさん いほど、掲載されていないことで 学生のそれがほとんどといつて良 洛星に入つてもつ三年目、 洛星新聞は、洛星中高等学校 200

なつて、他の面において全然協力しな
たない人が見られるのはその例です。 協力というのは一人の人が自己の道 がいかに ます。それには協力が必要です。みな 会を守を基礎を作るにはこの学校生活 さん!僕達はも つと 理解し合い協力 僕達の学 難の道をやぶることにあるのだと思い ず校生活での第一歩は僕達の苦 軍要であるかを知らせます。

るように努力し ようでは ありません しあつて少しでも学校生活を向上させ

平 た 原稿を書いていただけませんでし なお右の三死生には、 寺田稲子さん 新入 間 先生 神父 生 受 (数学科) (宗教担当) 都合に依り 付 徒の名前を知つているだろうか。 から生徒違に名札をつけることを や高二の生徒が、中一、中二の生 高校生や上級生を知るということ が僕の夢である。というのは、現 ě, か。僕は洛星にいる間に、せめて 在の洛星において、高三の生徒い 会に対してなにをしてきただろう の者を除いて僕達は、学校、生徒 一つのことを学校に残しておきた ぐおぼえられる。このようにし それは、中一から高三の生徒ま 顔に特徴があるものは、名前が 目が名札をつければ、僕のよう 動に於て、顔見知りの者がある やおそらく知るまい。(クラブ それらは全く例外である。) 各自の胸に名札をつけること 生徒達に安心感を与える。だ 高校生が中学生を、中学生が 各自が学校にいる間だけで

が勝手なことを裂け少しでも全体の 洛星にはすぐれた英才を持つた人が沢 て偉大な言葉でしよう。これは僕達いるのはなんと遺憾なことでしょう。 るよこに思えます。クラスの向上のた めに話し合つている時でも少しも耳を ではない 長く、苦しく難い壁があるのです。そ かと思います。僕達の将来は

かさず自分勝手なことをしている人、

れを全員で協力し合い打ち破つていく

が僕達から離れやすく、忘れがちなもあけるという精神が必要です。 して僕達から離すととができず、将来 のためになくてはならない物です。だでも欠ければ助けあつて又もとに築き は見うけられます。勉強という物は決 大な る協 をただあるくのではなく、多くの人が 沢山の道を手をつないであるき、一人 力

(中二日 原田浩治)

×

×

HIO 中村

か」と騒がれていた正木先生が五 シャクダツタ。 ぞ!) されましたなあ!」 これは 木氏もとうとう成仏(仏教語です 屋教員の神谷 先 生開 ロ一番 「正 びの正木先生を見とれていた元洛 子さんと結婚式をあげられた。喜 月五日、河原町教会に於て松尾貞 ▼「孤独の人」「永世独身宣言

が結構です。 ▼中学校舎両階段の壁いつばいに た方が、気がきいていますな! 出発された。今はそつとしてあげ れは山だ)に両手の花の心特ちで 生徒は、一度十字をきつておく方 もつて聖画を描いている。洛星の 美術部員がおそくまで無心に筆を 新婚旅行は、正木氏の恋人(そ

豊かな生活も生まれてくるの

が、ナドウ校長によつて行われ 学の裏庭で新校舎建設用地の祝別 ▼五月二十二日午前十時から、中 る中間考査が、やつと終つた。 が行なわれだ。神父様方と教職員 洛星の教職員の Family Lay ▼生徒にとつて、一つの地獄であ の子供のなごやかな一日であつた ▼さる四月二十三日、本校講堂で

(3) No. 4 8 間以上も黙想をさせられた。しかし今 中を問わず騒々しくなれば放課後一時 たらさぞおどろくことであろう。 と!以前の洛星を知つているものが見 だつたころはもつと静粛が守られてい かえつてみてみたい。授業中休み時間 たように思われる。ところがどうだろ 今の中一、中二の諸君の騒々しいこ そこで僕達の中一時代の洛星をふり がそれよりも洛星の誇るべき特徴であ と同じことであるから共同生活を含な チャーミングスマイルも必要でしよう れでは学校全体が六つに分れているの る静粛をもつて徹底させるべきではな

の下級生はそのようなことをしたてと いでしょうか?そのためにもある程度 なら家庭で個人指導をしてもらつたほ

んでいる意味がなくなる。そんなこと

関係はまつたくないといつでよい。こ

うことではない。度をこさぬように

縦の関係を作つてほしいということ

HIA·漸

僕達の学校でさえもこのことが忘れ しかすぎない空言なのです。事実、 して願つてもこれは単なる心の中で

られているのではないでしょうか。 でしようか。特に僕達の学校生活では ならば、僕達の学校生活はより楽しい

のが勉強以外の精神的なことではない

全員が助け合つて、励まし合つ行く

といつてもなまいきになれとい 関係が出来てきたからだと思う

ほどそのとおりだと思う。僕達が中一

比らべてずつと小さいものではなか。

つことをよく聞くようになった。なる

最近洛星は騒々しくなつて来たとい

ともかく中学生にとつてはある程度の

いと思う。高校生は
ことは君達の手によつて洛星に欠けて
ことは、ともすればなまいきになり おそらくしていない。次に中一中二諸君にお願いしたい てほしい。しかし縦の関係が出来る

以上のととを補導部にお願いした くするためにもクラブ活動に参加し

うがずつとよい。この悪い習慣をな

「協力」これはなんと大きく、そし、洛星内においてとの協力心が失われて「協力の「力」という字が一つ欠けてい「物になり

いる縦の関係を作つていただきたいとがちであるが、諸君のととだか

向上を考える心から起るのです。こ山います。

らけつしてそのようなことはな

いと思う。ところで中一の生徒

はなまいきだ。上級生を上級生

と思つていないということを耳

にする。しかし僕はそれも縦の

でも助け合つて行く気持があ

います。しかし、僕達がころ つたら起りはしなかつたと思 の言葉が本当に理解でき少し

よう。あの僧むべき戦争もと どんなにすばらしいことでし 真の協力心を持つたならば、 の日本、いや世界中の人々が

い、つまりエゴイズムな人がその中に

しかし、あまりにも勉強きちがいに

友達づき合いがなく少しも協力心をも ととは重大なことです。これからの社

補

導

部

3-6鴨

沂

相手校 城南高校

があるのでしようか、強制すべきではないでしようか。

日時

五月士三百 (土)

京都市立洛陽高校

ものはその結果生まれでる良い環境に クラス間の関係はあるが、各学年間の

縦の関係を作ろう

ることによって起りうる苦しみというるべきである。との学校においては各

強制力が必要ではないか。強制されとである。そのためにもクラブにはい

聖語

幼い子たちを私の方に来さ

さをよみされ自分の傍に幼い子た

イエズスは青少年の無邪気な清が子供たちの心もつて 生きるな

せなさい

マルコ書十章一三節

間形成に協力するのであります。

するのでありましようが、 人間は各自色々の社会生活を経験 少年をそのままの美しさで導きて 面をよく指導するととによって青

インベルと共に世界のマスコミを りでなく自分の国を大事にするあ

ースの箱をデザインした人)スタす。立派なデザイナーであるばか

効果万点です。

アメリカのレイモン・ロイ(ビ

うでをぞんぶんにふるつたそうで

ぐつてナチスに抵抗しもちまえの

聞

新聞部インタビュー

館である。

総工費約三千万円、一階は一定である。

完工する予定の第一次洛星会

は、視聴覚教室と部室の予定

工事は近日中に着工される予

この写真は、記念祭とろに | 三百人収容できる食堂・二階

を行いました。 アラール神父のお姉さまのフランソワーズ・アラールさんとそのお友達のバトリシア ・バーンズさんのお二人が来られました。そこで当新聞局は第二回目のインタピュー

第二回目なので、前回よりはやや流チョウな会話が行なえたと思います。



御旅行の目的 いのを見て驚きました。

問一京都と比べてどうですか。 問ーカナダのどこ 楽しむためです。 答一 ケベツクです 答一単なる旅行を におすまいですか。 答丨 見て)さつきは美しいです。 それに色々あります。(窓の外を 美しい。かえでは紅葉し、もみじ 問一 カナダの大学生はどうです は日本のよりもつと大きいです。 問ーカナダの四季について・ 容は爽快、夏は暑く、

秋は

しかなく、京都が大変古くて美し 答― ケベツクは百五十年の歴史 答一カナダには多くの大学があ

浴

りスキー、スケートをしたりしま り、学生はよく勉強します。 は教会に行きその後は、手伝いを 答一十曜日は宿題をし、日曜日 をするんのですか。 日は休みだということですが、何 問一カナダでは週末の土、日曜 1 答一 日本ですよ。 (一同サンキ 正しいですか。 問ー カナダの学生は礼儀正しい 問一日本の学生とどちらが礼儀 答一はい、まあ正しいです。 したり、映画に行つたり、泳いだ カナダの産業でパルブ産業

間 - 日本の庭園を見ましたか。 答一祭良、大阪、神戸。 ろでどとが一番よかつたですか。 間ー日本で今までに行つたとこ たぶん世界一だと思います

ワンダフル。 答 ― 桂離宮を見ました。 ベリー 問ー 我々の誇りです。その他京 答ースシ、スキヤキ。

都でどこを見物されましたか。 へ行きました、比叡山ドライブウ 答一 金閣も銀閣もたいていの所 代表する有名なコマーシャルデザ す。彼は第二次大戦中は地下にも イナーです。 サピニャツクは現在フランスを

かせることがいかにおろかしい罪って教育方針としているのです。 こと、又この美しい自然をつまつ 業のモットーとしてこの言葉を取 ちを引よせ、人間のモデルとしてり、人間人間の社会生活を美しく 言葉が近代に応用出来ないのでは るのであります。 キリストのこの らば謙遜であり、物事に忠実であ をつまづかさぬように努めること 無邪気さと美しさをもち、又幼児 なく、むしろ私達が幼児のような 完成されたものとすることが出来 も会の創立に際して青少年教育事 会創立者、ルイマリ、ケルブ神父 が大切でしよう。又ヴィアトール す。キリストは決して子供の年に よみされる美しさ、それは幼児の ようか。それは虚栄心、嫉妬心の 児の清さを保ちましよう。 私がヴィアトール学園のモットー 徳を学べといつたのです。これが かえれといつたのでなく、子供の の欲求する真の美しさでありま 無邪気な清さであり、又人間各自 空しさではないでしようか。神の であることを知り常に己を省み幼 最後に人間が知るのは何んでし

LE FIGARO

4 8

ンでこのために社会人が常に互い ているからです。それが社会のガ 社会は常に虚栄心と嫉妬心がみち

を通じて大人の生活はみにくく、 示ざれたのです。その理由は今昔

No.

らであります。それでキリストは

いこみ、不幸の根をなしているか

に不和と不満の中に人間個人をお

幼児の単純な美しさを理想とする

校 予 定 図 新 舎

間― 日本の古いしきたりをどう エーにも。京都がきれいでした。 思いますか。 答一 たいへん興味を持ちました 答一ちよつと使えます。むつか 問一日本語は。 しい。一みなさんはフオーク、ナ イフはどうですか。(笑)

問ー日本料理はどうですか。 問ー、箸はうまくつかえますか。 一問一どこで覚えられましたか。 答一とんにちわ、さよなら 早うございます、どうぞ。

*

牛耳つている人の一人でもありま

たりはなかなか話せる人です。

一答一 時々はおとなしいでした。 間― アラール神父の小さい時は 問ー修道院の生活をどう思われました。 答一ととです。 答一楽しいですよ。 どうでしたか。

しかし時々他の子供にいたずらし

計画はまんまと数を奏したととに 仕事をしています。森永製菓のデ なります。 サビニャックは日本でも沢山の

フイガロ新聞 画紹介

サビニヤック (フランス) (ポスター)

たが、彼はそれだけの価値をもつ シャルデザイナーをもち出しまし 世界の名画紹介の最初にコマー



生一人、計六人で、今までの洗鑑 れた。授洗者は高一生五人と高二 調覚に於て荘厳に洗靈式が行なわ 式で最高の人数であり、 復活祭の前日の四月一日、 本校 が終つた。 である。 れ、なごやかな内にパーティー 察名惇夫 ベネデイクトウス なお、受洗者の氏名は次の通り

松本孝

吉田克弘 アンプロシウス ユストス パトリース ローレンチウス 芦田が それぞれ 担 当しまし

の入試を実破して呉けたゲートルが、走るとひしひし る。私が四人に一人 年前の想い出である私にとつて唯一の時間短縮法走る けれど、これは二十切禁止されていたので、朝寝坊の 十年ひと昔という 学していた。交通機関の使用は一 と足をしめつけてくる痛さと上り ことであった。しつかりと巻きつ

ある日は学校が憂うつであつた。 た)体操の点は級で最低、体操の

「牛肉」というあだ名をつけられ

想い出をならべて諸君の御参考にまだに忘れ得ないものの一つであ 月であつた。以下と切とめのない 一中に入学したのは昭和九年の四 父が海軍々人であつた関係上、

扱をあえぎあえぎ走る苦しさはい

剣道の時間に集合の態度が悪か

ろいろな技を連続でやつたのです

なを味わつた。広島高師の四年の 、行けなかつた私は二度目の苦し

以上の人ならば。

私達は非常に厳しい教育環境の

せざるとに拘らず厳しい心身の訓 中で成長した。従つて欲すると欲 はあるまい。少くとも私と同年輩

今昔の感一しおなのは私一人で

きの体操の数師の驚き、牛肉がい

ようになった。低鉄棒の試験のと

で教師になることに決めた。海兵

中学五年になつて、やつと目標

慨無量であつた。

た。前方転回、後方転回を始めと もできる低鉄棒を徹底的に練習し しかし牛肉に発奮した私は牛肉で

及はほとんど生存していない。)

でのお蔭で諸君と楽しい日々が過

苦悩は大であつた。(もつとも

成績だけなら問題のなかつただけ 区への進学は絶望であつた。学業

浮かべていたくろがねの浮城、亡

を想つた。港内に堂々たる威容を

き旧友のことなど。いまは防衛隊

こるので、海兵、陸士へ進んだ級

を眺めながら、僅か二十年の違い の小さな艦が数隻浮んでいる呉湾

であまりにも変り方の激しさに感

していくつかの技が連続でできる

中学時代の思

中学生の第一の希望が兵学校に入 な軍艦ばかりを眺めて暮していた させられたときも苦しかつた。許 との一つである。苦手の学科でも たのはいうまでもない。 学して海軍将校になることであつ 艦、巡洋艦、駆逐艦……大小様々 島が霞んで見えた。毎日々々戦 は小高い丘の上にあり、呉軍港を あつた。特に私の入学した呉二中 るか彼方に海軍兵学校のある江田 私の育つたのはほとんど軍港地で 一望の下に収めることができ、は

つた理由で四時間も板の間に静座

からね。とれば最も痛快だつたと

夫

しかし、諸岩は自分自身の自覚

卸の彼方へ消 え去ってしまった

るのは通学時の苦しさである。私 が、いまだ鮮かに脳裏に甦つてく

いなかつた。歯がいざり歩きをし されたときには誰も立てるものが ているのでおかしいやら苦しいや

蔭の胡爪であった。身長一六八

中学四年のとき、私の体格は日

になった。

しかし彼女は気の毒にも若い未亡 の論私の初恋ははかなく破れた。きない。 れた。海兵出身の少尉であつた。 しき、私の恋人にライバルが現わ

いかなる最高学府を出ようと

徳」これがなければ知識も活用で

ねばならない。「健康と社会道 によってそれらを身につけていか

種、胸囲七五種、しかも裸眼視力

た。汽車が呉駅についたとき、私

一昨年私は社用で広島へ出張し

な人格を持つていないならば、知

その人が社会人としての完全

識は全く無用の長物といえよう。

が左右とも一・Oに足りなかつ

勿論、海軍兵学校、陸軍士官学

ら呉の港を眺めながら、昔のこと

年時代に見慣れた山や河、車窓か

胸は懐しさで一杯であつた。少

努力すればできることを私は体得

である。

は当時徒歩で約一時間の距離を通さがつたまま(体操の教師から

中学時代の思い出はほとんど忘らとれも苦しかつた思い出の一つ

走ればいつでもびり、鉄棒はぶら 私は体育が最も苦手であつた。

間ーいつ日本をお立ちになりま

ルス、バンクーバ経由で帰ります 答一六月一日です。ホノルル、 サンフランシスコ、ロスアンジエ

の主人公をそのまま使つたあたり ガロ新聞のポスターです。オペラ 洛星新聞でもこれくらい気のき これはサビニャツの作つたフィ 人は「なんだろう」と思われるで しよう、そして次に私の説明を読 いた宣伝をしたらどうでしよう。 まれるでしよう。そうなると私の との絵を紙上でごらんになった

ザインは主に彼が手がけています この紙面では色がお目にかけら

に盛大なものであった。 式には授洗者の父兄、級友も参

氏、そして教師、先輩、同級生表 そして 父兄代表として 猪木 正道 加し、式後、パーティーがあつた

> 精木武徳 野川竜男

ペトロ

式



ーケストラ部

聞き入つていた。特にヴァイオリ 見事な演奏ぶりで、聴衆も熱心に 鳥の湖より情景」「エグモント序 **ラ部もそれに参加した。曲は「白** 演奏会が開かれ、洛星オーケスト ▼五月七日 (日) 京都会館第一ホ ンの音色が美しかつた。 ールに於て市民オーケストラ合同 で、指揮は勿論小笠原先生。 京都会館にて演奏

後 記

は満入、丹治、二面は芦田、北 ことを目標にしています。▼一面 い。現在一ケ月で一回発行できる 発行が遅れてしまつて申しわけな ら、試験その他いろいろの理由で 設けました。▼毎度のことなが 介」、そして「型語解説」の欄を 画紹介」を改めて新しく「名画紹 念特集」をもうけ、四面には「型 第四十八号は第一面に「十周年記 続くのも目前と行つた所である▼ う八十八夜も過ぎ、暑い暑い日が ▼何だかんだといつている内にも 三面は中村、芦田、四面は北